

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	文化産業観光部	産業振興課
施設名称	(9)	東京都台東区立産業研修センター	指定管理者	公益財団法人 台東区産業振興事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		指定期間	H28. 4. 1	～ H33. 3. 31

1. 施設および事業の概要	
(1)	[設置目的] 台東区の中小企業の振興及び勤労者等の福祉向上並びにもものづくりに携わる事業者の育成を図り、もって区内産業の活性化に寄与する。
(2)	[所在地] 台東区橋場1-36-2 [規模] ●旧館：延床面積 932.78㎡ RC造3階建 事業者支援施設(貸事務所9室) 機械研修室 ●新館：延床面積 1,179.04㎡RC造4階建(4階橋場老人福祉館併設) 会議室 研修室 皮革産業資料館兼図書コーナー
(3)	[委託事業] サービス提供：登録団体への各研修室、会議室等の貸出 事業者支援：浅草ものづくり工房入居者への支援 [自主事業] 中堅技術研修・革工芸教室・CAD講座・語学教室・情報化、国際化支援セミナー・太極拳教室等実施
(4)	[利用者] 区内在住・在勤者 登録団体 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他()
(5)	[開館日・時間] ・開館日：①毎週月曜日 ②国民の祝日に関する法律に定める休日(月曜日の場合はその翌日) ③1月2日、3日 ④12月29日から31日までを除く毎日
(6)	[人員体制] 5名 (内訳) 産業研修センター所長 1名、事務職員 4名

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料(指定管理料)	16,505,000	15,865,959	16,767,000	15,677,761
	利用料金収入	4,536,000	3,353,550	4,416,000	3,729,350
	その他収入(光熱水費等料金収入)	1,600,000	1,713,302	1,653,000	1,447,158
	計	22,641,000	20,932,811	22,836,000	20,854,269
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	3,241,000	3,299,984	3,241,000	2,801,981
	維持管理費(委託料・賃借料)	15,535,000	14,935,392	16,291,000	15,690,221
	修繕費	340,000	132,940	340,000	167,292
	事業費	3,457,000	2,524,325	2,896,000	2,170,175
	その他支出	68,000	40,170	68,000	24,600
	計	22,641,000	20,932,811	22,836,000	20,854,269
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
研修センター会議室利用人数	人	12,000	11,968	10,371	10,472
ものづくり工房入居事務所数	室	9	9	9	9

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
研修センター会議室稼働率	%	20	22.4	20.0	20.5
ものづくり工房事務所稼働率	%	100	100	100	100

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況
自主事業から派生した団体が増加したことにより、会議室利用件数が増え、貸出人数、稼働率も微増ながら増加した。また、浅草ものづくり工房では、第4回施設公開や新たに浅草文化観光センター展示室を利用し、「ものごぼクリエイター展」を開催する等、活発に活動し、広く施設全体のPRに努めている。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	管理基準に基づき、利用受付や承認が速やかに処理されている。また、危機管理や個人情報保護も適切に処理されている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	研修等の自主事業では、次の受講につながるよう内容に工夫がみられ、利用者に対する対応も良好である。施設運営にあたっては地場産業団体との会議の中での意見を踏まえて改善を図っている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設管理は、管理基準を基に点検等を実施しており、業務日誌や施設利用者報告書等によって区に適切に報告されている。清掃業務及び夜間施設管理はシルバー人材センターに委託し、効率的かつ適切に実施している。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	自主事業等でアンケートを実施し、その結果をその後の事業実施に活かす等、利用者の意見が反映されるよう努めている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	施設管理の中で効率的な予算執行や経費節減に努めている。会議室貸出件数が前年比12%増となり、利用料金収入が増加したが予算額には届いていないため、自主事業を含め収入確保に向けての取組みが必要である。
(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
5 点	教員等を対象とした革工芸講座を開催し、教育現場において次世代に台東区の地場産業である皮革に対する理解を深めるよう努めている。

7. 総合評価 極めて良好 (110~101) ・良好 (100~91) ・適正 (90~70) ・改善指示 (69以下)	
良好 (100 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>協定等に基づき事務処理を含め適切に処理されている。また、サービス向上の取組みも、利用者アンケート調査により得た情報を利用し、利用者のニーズに合わせた講座等の開講をしている。稼働率の向上については、メディアの露出度が高い「浅草ものづくり工房」を更に活用し、施設全体のPRを積極的に行っていく必要がある。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>会議室利用状況は前年と比較すると微増の状態であるが、更に向上するよう活動内容を広く周知し、利用料金収入の確保に努める必要がある。</p>